

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和6年 第3週 (1/15~1/21) 【COVID-19 情報】

令和6(2024)年 1月25日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- ・滋賀県の定点あたりの報告数は9.10で、前週(7.60)と比べて増加しています。2023年52週以降、増加傾向が見られます。
- ・10歳未満および10歳代の報告数は増加しています。特に10歳未満では大きく増加しています。
- ・東近江、彦根、長浜、高島保健所圏域で前週と比べて増加しています。
- ・学校欠席者情報収集システムの報告数が増加しており、若年層の増加が見られることから、今後の動向に注視が必要です。

2. COVID-19の定点当たり報告数(全国は前週)の値

定点当たりの報告数とは、定点医療機関からの1週間の報告数を定点医療機関数で割った値のことで、1医療機関当たりの報告数のことです。(COVID-19の例: 1週間の報告数200 ÷ 60 ≒ 3.33)

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県			保健所別							全国 (前週)
		2週前	1週前	今週	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
COVID-19 (定点数:60※)	COVID-19	7.00	7.60	9.10	9.69	6.00	7.86	11.20	11.43	10.14	7.50	8.96
基幹 (定点数:7)	COVID-19入院	5.71	3.00	4.86	6.00	2.00	2.00	3.00	12.00	3.00	6.00	5.93

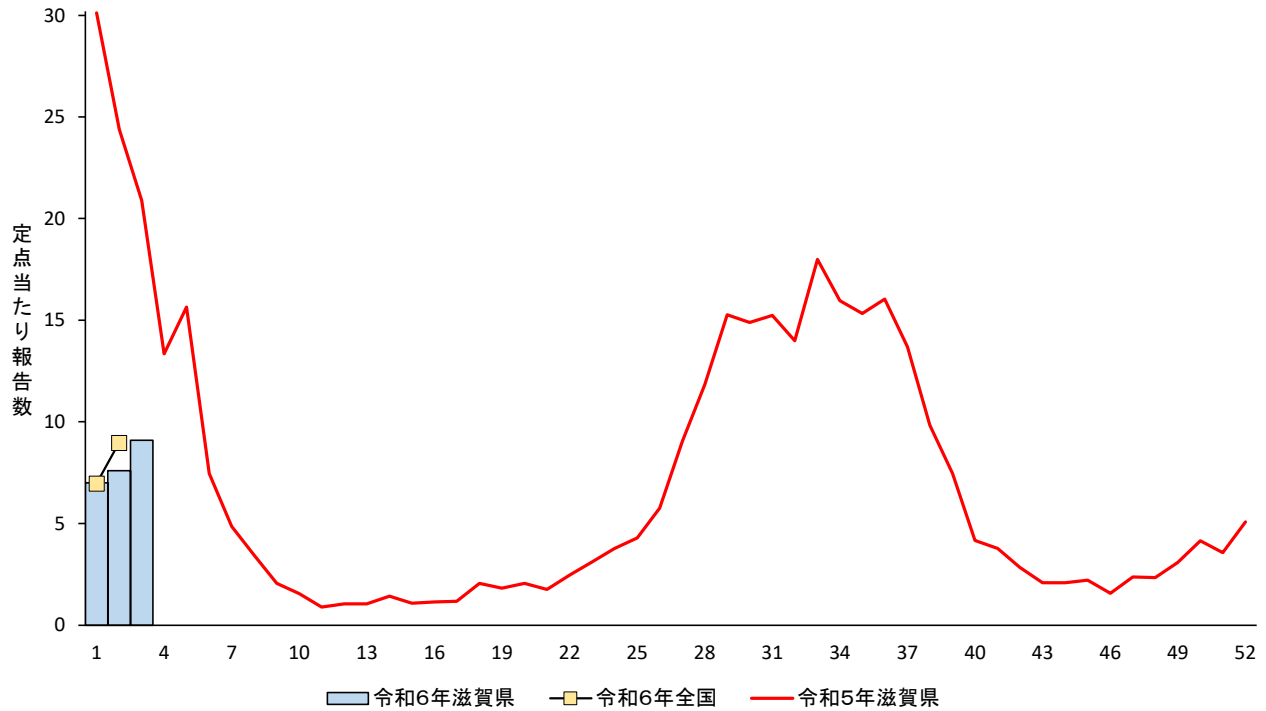
※第1週(2週前)と第3週(今週)のCOVID-19定点数は、滋賀県59医療機関となっています。

3. COVID-19の年齢階級別報告数(滋賀県、今週)

「-」:報告なし

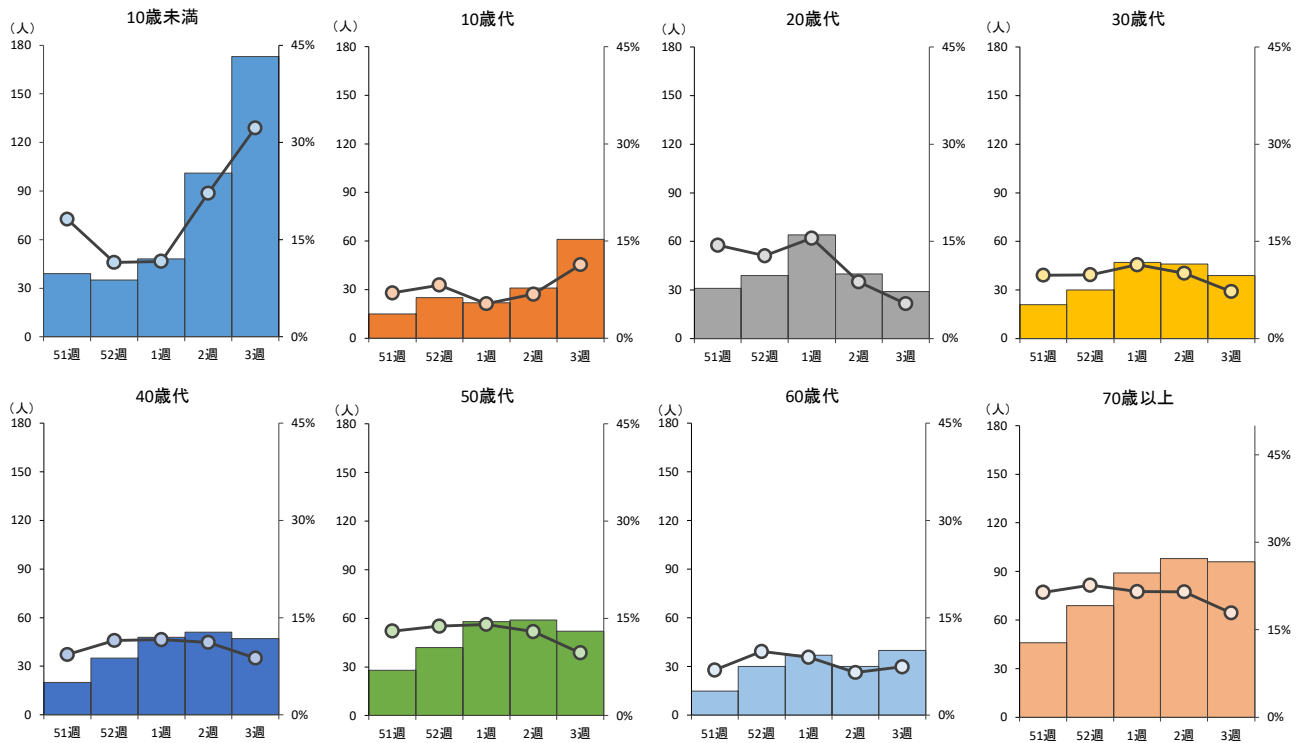
COVID-19定点	総数	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳~
COVID-19 (59医療機関)	537	6	10	17	15	23	22	18	19	18	12	13	44	17	29	39	47	52	40	37	59
大津市保健所 (13医療機関)	126	1	1	-	-	1	5	-	1	3	1	2	12	5	6	11	14	19	17	6	21
草津保健所 (13医療機関)	78	1	1	2	2	3	3	3	3	2	2	1	7	4	5	5	11	6	5	7	5
甲賀保健所 (7医療機関)	55	1	2	-	4	-	2	1	-	3	3	2	5	-	4	6	6	5	1	5	5
東近江保健所 (10医療機関)	112	2	4	2	4	14	7	4	7	8	5	4	8	3	6	7	11	5	5	4	2
彦根保健所 (7医療機関)	80	-	1	2	-	3	1	3	1	-	-	2	3	2	6	7	2	13	7	10	17
長浜保健所 (7医療機関)	71	1	1	10	5	1	3	6	6	2	1	2	7	1	1	2	3	4	4	4	7
高島保健所 (2医療機関)	15	-	-	1	-	1	1	1	1	-	-	-	2	2	1	1	-	-	1	1	2
COVID-19入院 (7医療機関)	34	1	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4	2	8	16

4. 滋賀県と全国のCOVID-19の発生動向（全国は前週まで掲載）

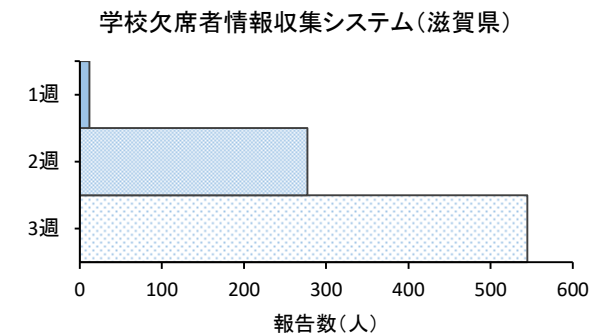
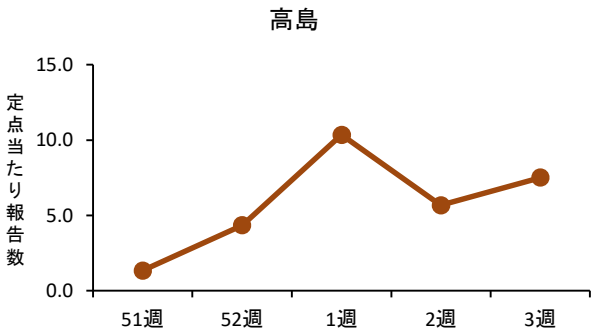
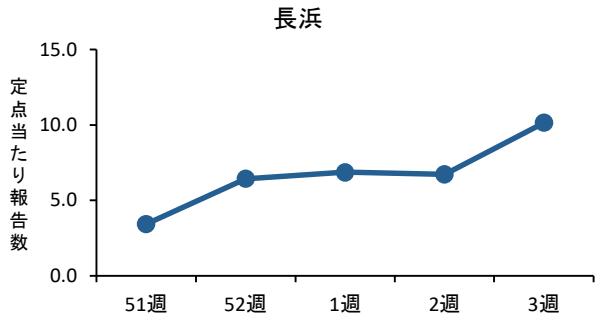
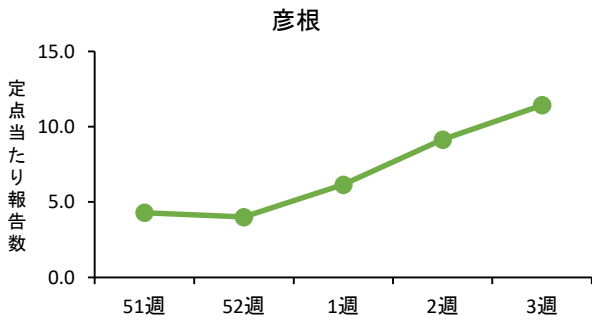
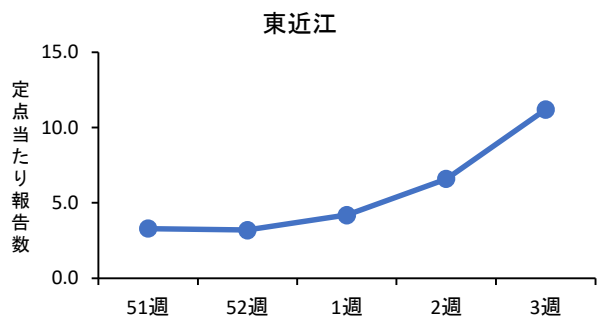
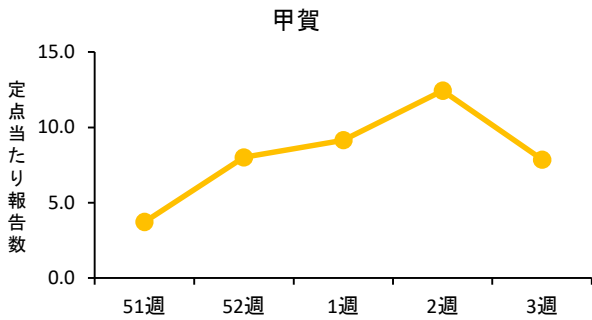
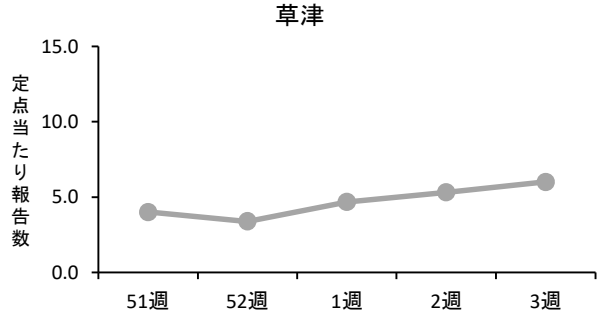
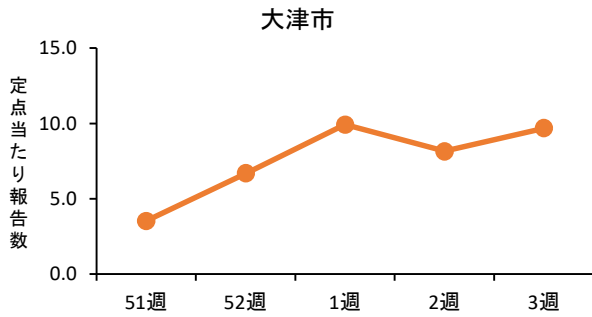
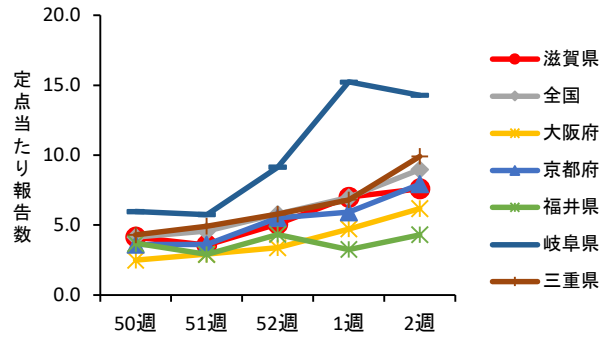
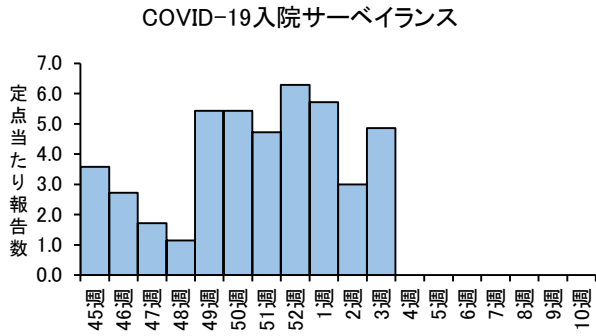


5. COVID-19の年齢階級別推移（滋賀県）

棒グラフ（左軸）：報告数（人） 折れ線グラフ（右軸）：全年齢に占める割合（%）



6. COVID-19の発生動向・保健所別推移等（全国・他府県は前週まで掲載）



1) 県内の入院状況

入院者数	うち重症者数
209	0

1/23更新データを掲載しています。
 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更され、通常の医療提供体制へ段階的に移行していきます。
 重症：ICUに入室または人工呼吸器・ECMO(体外式模型人工肺)が必要な方

2) クラスターの発生状況について

介護関連事業所	障害福祉関連施設	医療機関
2	0	0

1/15～1/21に県で確認したクラスターを掲載しています。
 保健所への相談、イベントベースサーベイランスでの検査等で、同一施設で5名以上の陽性者が確認された事例をクラスターとして報告しています。

3) 検査数

検査数	7,989件
-----	--------

1/15～1/21に県で確認した検査数を掲載しています。

4) 県内の外来対応医療機関のひっ迫状況について

県内の状況	13.1%
-------	-------

1/15～1/21までに「ひっ迫している」と報告した医療機関の割合を算出しています。
 ※医療機関等情報支援システム(G-MIS)により集計

5) 救急搬送困難事案

発生件数	0件
------	----

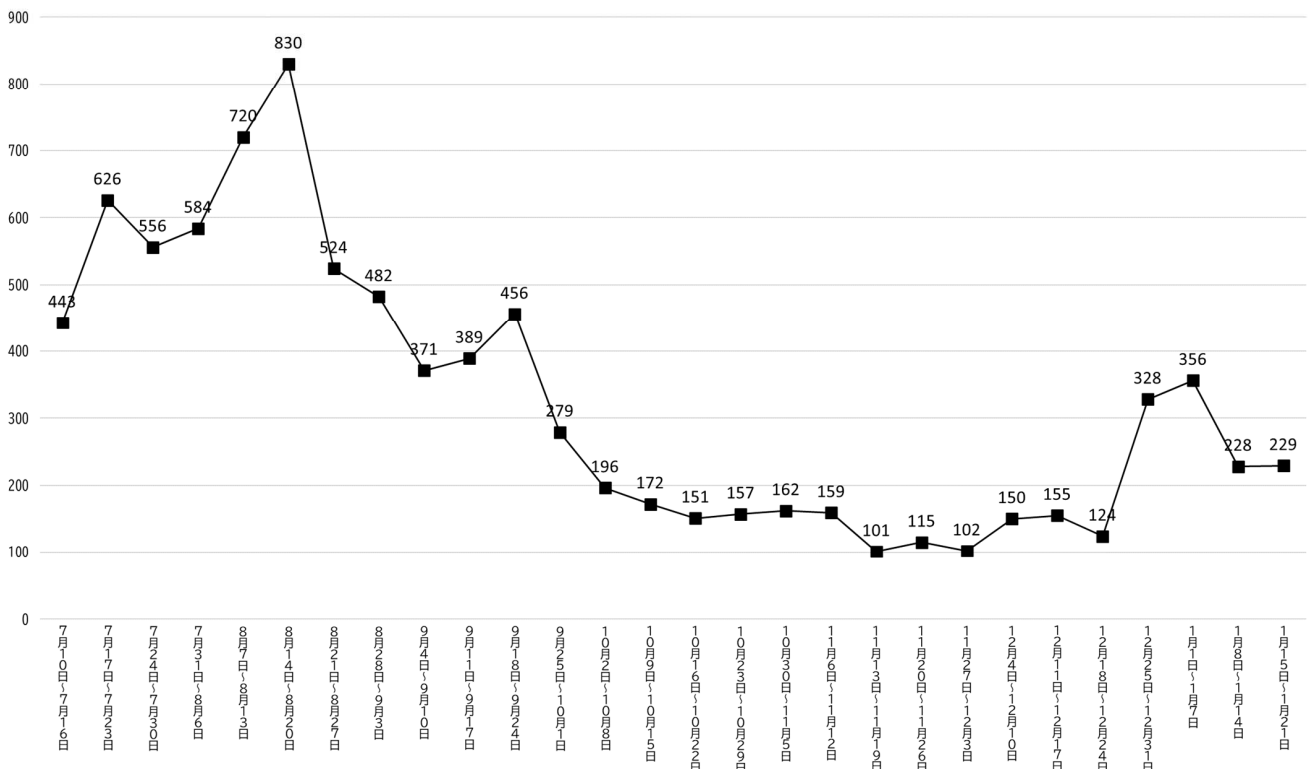
1/15～1/21における大津市消防局からの報告数を掲載しています。

相談体制について

相談件数(週計)

相談件数(件)

■ 受診・相談センター



変異株にかかるゲノム解析状況について

健康危機管理課
1月21日時点

- 世界的にはJN.1系統が65.5%(増加傾向)、EG.5系統が16.6%(減少傾向)、BA.2.86系統(JN.1系統を除く)が7.8%(横ばい傾向)を占めている。(WHO COVID-19 Epidemiological Update Edition 163 published 19 January 2024)
- 全国的にはJN.1系統は増加傾向であり、滋賀県では令和5年11月に初めて検出された。EG.5系統(HK.3系統を含む)は減少傾向であり、BA.2.86系統(JN.1系統を除く)はやや減少傾向である。
- 滋賀県では、令和5年12月時点ではXBB系統が全体の59.1%(うち EG.5系統(HK.3系統を含む)は52.3%、その他XBB系統は6.8%)を占めており、流行株のうちの主系統となっている。また、BA.2.86系統が全体の20.5%(うち JN.1系統は18.2%、BA.2.86系統(JN.1系統を除く)は2.3%)を占めており、流行株のうちの第二系統となっている。
- EG.5系統は、以前の主流株のXBB.1.5系統よりも拡がりやすく免疫を逃れる性質が強いが、重症度はXBB.1.5系統と比べて明確な違いはないと示された。(令和5年9月12日東京大学医科学研究所,WHO EG.5 Updated Risk Evaluation,21 September 2023)
- 世界中で急速に拡大しているJN.1系統は、EG.5系統(HK.3系統を含む)や先祖株であるBA.2.86系統よりも拡がりやすい可能性があることが報告された。また、免疫を逃れる性質は、EG.5系統の一種であるHK.3系統やBA.2.86系統より強く、ワクチン接種による免疫から逃れる性質はBA.2.86系統より強いことが示された。(令和6年1月5日東京大学医科学研究所)

ゲノム解析結果(検体採取日別 月報) (注)グラフの数値は、1月21日時点の暫定値です。

